

人事院会議議事録

会議日

令和4年7月5日 火曜日

会議の出席者

川本総裁 古屋人事官 伊藤人事官
(幹事) 松尾事務総長、池本総括審議官
(説明員) 植村企画法制課長
柴崎職員福祉局長、西人材局長、佐々木給与局長

議題

令和4年勧告時報告（公務員人事管理に関する報告）の構成案

議事の概要

- 議題「令和4年勧告時報告（公務員人事管理に関する報告）の構成案」について、担当局から説明があった。
- これに対し、報告文案の作成に関して以下のような意見があった。
(総論案)
 - ・ 民間人材の採用の円滑化について、各府省における運用に関し、「丁寧な説明」にとどまらず、人事院がより能動的に取り組む姿勢が明らかになるよう記載してほしい。
(各論構成)
 - 「1 人材の確保」関係
 - ・ 採用試験の見直しにおける「令和4年度内に方針を公表する施策」について、実施時期をできるだけ具体的に記載してほしい。
 - ・ 民間との人材交流の円滑化について、取組や措置の対象となる職種や府省がデジタル人材やデジタル庁といった一部に限定されるものではないことが分かるように記載してほしい。
 - 「2 研修を通じた人材の育成と能力・実績に基づく人事管理の推進」関係
 - ・ 研修を通じた人材の育成について、研修の意義を明確にした上で、施策の具体的な内容を記載すべき。また、研修の効果測定の実施状況の調査・研究についても記載してほしい。

- ・ 職員のキャリア形成における各府省による取組の重要性についても記載してほしい。

「3 勤務環境の整備」関係

- ・ 長時間労働の是正について、国会関係業務の改善に向けた関係方面への働きかけや定員担当部局への働きかけを具体的に記載してほしい。
 - ・ ハラスメント防止対策について、前提となる事実認識として苦情相談の実情についても記載してほしい。
- 本年の勧告時報告の構成案については了承され、意見を踏まえた上で報告文案を作成し、次回的人事院会議に諮ることとなった。